

第5ラウンドのハイライト

Hand 2: NORTH (K8532, AJ886, K10, 96), WEST (K93, A8862, 743), EAST (AQJ109, J54, 75), SOUTH (Q102, Q143, AK1052)

有利なバルネラビリティの時に、Eはウーク2でオープンをする誘惑に駆られても不安定ではない。特にマルズはよくウーク2を使っている時は、しかし、これはフィニッシュが利かぬ場合もある。悪手には注意を向けられ、後もしかない。

Hand 5: NORTH (A2, KJ1082, 876, K109), WEST (Q10754, 54, 10, AQJ4), EAST (K9, Q97, AJ852, 752), SOUTH (J63, AS3, KQ43, 883)

Nakamura vs Japan Youth Open Room: Justin Ino, East Jason, South Inakura. Justin: 1♥, Pass, All Pass. Ino: Pass, Pass, Pass. Jason: Pass, Pass, Pass. Inakura: INT(1), INT(1), DBL(1).

加来は3♣ダブルをプレイし、Eを当ててプラス50。一方のテーブルでは小林が2NTをプレイしてマイナス20となり、日本語チームが9IMPを取った。5はバランスハンドの10HCPしかないで、1♥に対しては♥と♠を打つる選択もある。1NTと引き、次の機会にジャンプしてダブルをするのも考えられるが、このような痛い失点となるケースは珍しい。

Hand 12: NORTH (AK, K6, Q98, AI09875), WEST (96543, A975, J54, 6), EAST (J82, Q843, 107632, 2), SOUTH (Q107, J102, AK, KQJ43)

Hand 16: NORTH (A4, AQKJ106, AK7), WEST (10952, 52, 972, 642), EAST (KQ76, 98743, K, 108), SOUTH (J83, ---, AQJ0853, QJ3)

10テーブルで中央のNが6♣もしくは6NTをビッドし、メイクした。10番目のテーブルでは久富チームの原・水田ペアが不幸に6Sサイドで6NTを取った。5はバランスハンドの10HCPしかないで、1♥に対しては♥と♠を打つる選択もある。1NTと引き、次の機会にジャンプしてダブルをするのも考えられるが、このような痛い失点となるケースは珍しい。

これは取ってビッドしたイヴランドスラムではない。誰かそれをラスト・マッポ、清水・平田、山田・高橋に取ってあげようではないか。

Hand 20: NORTH (K109, KJ7, AK875, K4), WEST (QJ7542, ---, Q1096, Q87), EAST (863, 98532, J2, 1052), SOUTH (A, AQ1064, 43, AJ963)

Hand 20 (cont): WEST (Fu), NORTH (Tai), EAST (Pass), SOUTH (INT(2)). Hand 16 (cont): WEST (Hanayama), NORTH (Lasut), EAST (Hirata), SOUTH (Manoppo).

スピードリードを捕ら、♣K、♣A、スモールクラブを♥Kでラフ、舞念・1ダウン。

このグランドスラムはフィネスを必要としないので16番ポードのグランドスラムよりは良いコントラクトである。しかし、雑々の問題が残っているためこれも7はビッドしない方がよいかもしれない。

Hand 10: NORTH (K108832, 54, Q86), WEST (AKQ76, 107432, A9), EAST (J5, J10982, 5, J10753), SOUTH (AQ97, 3, KQJ96, K42)

Hand 10 (cont): WEST (SR Wu), NORTH (Armstrong), EAST (Tai), SOUTH (P Hackett). Hand 12 (cont): WEST (Kaku), NORTH (Hirata), EAST (Mizuta), SOUTH (Shimzu).

NSの6♣はコールがなのでEWとしては必要なら6♥までビッドする方がよいが、実際にはレベルのコントラクトで止まっていた。

面白いのは久富チームの原部・陣ペアがSRウークとウークの両方で9♣をプレイしたことである。ウークはオポ・ネットがゲームをビッドしない時は、それ以上ビッドを続ける理由がないと判断した。一方のテーブルでは久富・水田ペアがジャンクオを♠まで得し上げていき、久富チームが7IMPを失った。

Hand 3: NORTH (54, AQJ810, 72), WEST (10763, 96, 9873, 865), EAST (K, J3732, KQ, AKJ93), SOUTH (AQJ982, 54, 104, Q10)

Hand 3 (cont): WEST (Kaku), NORTH (Hirata), EAST (Mizuta), SOUTH (Shimzu). Hand 10 (cont): WEST (Pass), NORTH (INT), EAST (Pass), SOUTH (2♥).

最も多かったコントラクトは4♣、メイクしたペアが多かった。ダイヤモンドのリードをAで取る必要があるが、またダイカまでの道のりは遠い。ハートのバカードを2回プレイしてダイヤモンドをディスクードするとWがワフし、後は何をやるにしてもダウンする。デュアルアワーはクラブで3トリック。あるいはクラブで2トリックをハンドスラムにしてサクリファイス、取のゲームストロンクアウトをコントラクトで9IMPを失った。

獲りのテーブルでは4ペアの全員が5♥をプレイし、1ペアだけが6♥をビッドして取られた。日本ウイメンズチームの内藤・森山ペアはダブルを打って正解だったようだ。山田チーム(平田)は取れたオポ・ネットに助けられて♥をメイク(スピードのトリックを完全に取らなかった)、山田チームが11IMPを勝ったが結果はドローであった。

Hand 10: NORTH (J10, J1052, Q9754, 96), WEST (A964, AKQ9, K, A873), EAST (K973, 7643, A52, 104), SOUTH (Q52, 8, J1083, KQJ53)

Hand 10 (cont): WEST (7, 765, Q10954, K1087), EAST (J10654, 982, 813, J32), SOUTH (Q83, KJ104, K3, A964)

しかし、この10番ポードにおける大塚・吉田(およびサウラー・アズビ)ペアの勝ちは多少とも重いかもれない。

彼らはゲームを飛び越え、メジャーのスラムをプレイして13IMPを献上した。

18番ポードでは何か雰囲気があったのだろうか。

Hand 8: NORTH (A75, Q3, AS73, 10984), WEST (QJ1092, AK983, ---, K63), EAST (K8, J42, Q65, AJ752), SOUTH (443, 1065, KJ10942, Q)

Hand 8 (cont): WEST (83, 75, Q10843, K974), EAST (1062, AJ752, 9765, 10), SOUTH (Q843, J106, AK, Q865)

8番ポードは山田チームの平田・花山ペアが6♣、20番ポードでは内藤・森山ペアが6♥を掴み取った。

私のテーブルではオウクシオンが次のように進んだ(お仲間も大勢いることと思う)。

Hand 8 (cont): Kokish, Mizuta, Colker, Furuta. WEST: 2♥, Pass(1), 6♣. NORTH: 3NT, All Pass. EAST: 1♣, Pass. SOUTH: 1♣, Pass.

セブシティ(ラウンド)セブン

Hand 2: NORTH (Q75, Q1053, A75, 1052), WEST (K108832, 7, J8, A883), EAST (J, K864, Q96432, K4), SOUTH (A94, AJ92, K10, Q10)

Hand 2 (cont): WEST (2♥), NORTH (3♥), EAST (Pass), SOUTH (3♣). Hand 5 (cont): WEST (742, A752, Q5, 10873), EAST (K, 10963, 10972, AG95), SOUTH (AQJ10953, ---, KJ3, K62)

山田・高橋が6♣をビッドした唯一のペアだったが、不親切にも♥Aのリードが来なかったのがワク。

瀬戸口・太田、吉田・水田、チョン・タイのペアは全員6♥までねばつたが、トランプリードでダウンするが、最初の2テーブルではWがクラブ、3テーブル目では♥をリードに選び、全員が無難で生還した。

Hand 6: NORTH (J9542, 10963, 106, 62), WEST (Q, KQ754, AJ7, J1075), EAST (A, J82, K543, AKQ98), SOUTH (K108763, A, Q882, 43)

Hand 6 (cont): WEST (2♥), NORTH (3♥), EAST (Pass), SOUTH (3♣). Hand 12 (cont): WEST (J106, KQ8532, 83, 85), EAST (Q75, 4, KQ87654, K8), SOUTH (A8432, J106, ---, 10943)

EWの6♣がベストコントラクトで、6♥もレディアラマーがランプの扱いを間違えなければメイク。高山・小林ペアは対インドネシア戦で7♣をビッドして、12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。

EWの6♣がベストコントラクトで、6♥もレディアラマーがランプの扱いを間違えなければメイク。高山・小林ペアは対インドネシア戦で7♣をビッドして、12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。

Hand 9: NORTH (A752, K986), WEST (KQ86, 985, J84, 1054), EAST (84, 42, AQJ10762, 72), SOUTH (J103, 436, K53, AQJ3)

Hand 9 (cont): WEST (2♥), NORTH (3♥), EAST (Pass), SOUTH (3♣). Hand 11 (cont): WEST (K108763, A, Q882, 43), EAST (K, 10963, 10972, AG95), SOUTH (AQJ10953, ---, KJ3, K62)

ラストは上手なプレイヤーである上に、ブリッジに対してもしも人生にても向かい合う相手も人間的に。これもめでたきことなく、深遠な態度であったことを記しておく。インドネシアとチームを組むのはとても楽しい。彼らは正直に話し、困難に直面した時も哲学的に対処する術を持っている。

EWの6♣がベストコントラクトで、6♥もレディアラマーがランプの扱いを間違えなければメイク。高山・小林ペアは対インドネシア戦で7♣をビッドして、12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。

Hand 11: NORTH (A, 8784, Q, AK10842), WEST (KQ9873, 3, AJ54, J9), EAST (K, 102, K108832, Q53), SOUTH (654, AJ10952, 97, J7)

Hand 11 (cont): WEST (2♥), NORTH (3♥), EAST (Pass), SOUTH (3♣). Hand 12 (cont): WEST (J106, KQ8532, 83, 85), EAST (Q75, 4, KQ87654, K8), SOUTH (A8432, J106, ---, 10943)

EWの6♣がベストコントラクトで、6♥もレディアラマーがランプの扱いを間違えなければメイク。高山・小林ペアは対インドネシア戦で7♣をビッドして、12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。

台湾対中韓チームでは中韓・宮国が6♥をプレイして1ダウンし、チョン・タイは♥ダブルをプレイして1ダウンし、中韓チームが2IMPの取りという結果であった。

Hand 12: NORTH (K9, A87, A102, AJ762), WEST (J106, KQ8532, 83, 85), EAST (Q75, 4, KQ87654, K8), SOUTH (A8432, J106, ---, 10943)

Hand 12 (cont): WEST (2♥), NORTH (3♥), EAST (Pass), SOUTH (3♣). Hand 19 (cont): WEST (K6, KQ9873, 7, AQ72), EAST (863, 1064, J86, J53), SOUTH (AK10973, ---, AK109, 108)

EWの6♣がベストコントラクトで、6♥もレディアラマーがランプの扱いを間違えなければメイク。高山・小林ペアは対インドネシア戦で7♣をビッドして、12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。

EWの6♣がベストコントラクトで、6♥もレディアラマーがランプの扱いを間違えなければメイク。高山・小林ペアは対インドネシア戦で7♣をビッドして、12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。リウ・シは平田・花山の5♥をダブルし、裏は6♣をビッドしたので12IMPの失点。

ハイファイブ

Hand 7: NORTH (K1085, 54, ---, J95432), WEST (7, K873, 1042, K10876), EAST (963, 10963, KQJ975, ---), SOUTH (AJ42, J102, A83, AQJ3)

Hand 7 (cont): WEST (2♥), NORTH (3♥), EAST (Pass), SOUTH (3♣). Hand 19 (cont): WEST (K6, KQ9873, 7, AQ72), EAST (863, 1064, J86, J53), SOUTH (AK10973, ---, AK109, 108)

吉田・大塚は4♣1ダウン、瀬戸口・太田は3♣で止まってプラス140のスコア。ウイメンズチームはユースチームに2-2と勝った。

この19番ポードで取った結果を出したのはチョン・タイのペアであり、彼らはNSのカードを持って何故か6♥で止まった。ブリッジプレイヤーの多くは自分のポイントではなハードリードしたので、ディレアラマーは12トリックを取った。

井野・今倉は切っ先鋭く台湾チーム(ジャンクオ)の5♥にダブルをかけてプラス500、裏は4♣をプレイしていたのでイギリスチームが9IMPを獲得、25-4と圧勝した。

この19番ポードで取った結果を出したのはチョン・タイのペアであり、彼らはNSのカードを持って何故か6♥で止まった。ブリッジプレイヤーの多くは自分のポイントではなハードリードしたので、ディレアラマーは12トリックを取った。

悲喜こもも

Hand 8-19: NORTH (J1062, 107, Q65432), WEST (973, KJ32, K52, KJ7), EAST (A, AQ984, QJ107, AI09), SOUTH (KQ854, 65, A984, 8)

Hand 8-19 (cont): WEST (2♥), NORTH (3♥), EAST (Pass), SOUTH (3♣). Hand 19 (cont): WEST (K6, KQ9873, 7, AQ72), EAST (863, 1064, J86, J53), SOUTH (AK10973, ---, AK109, 108)

久富チームはインドネシアと対戦したが不運であった。久富・寺本は華麗に♥でビッドしたが、ダイヤモンドのキングワードで破死。裏のテーブルでは多田井・原の裏的的な2♣オープンゲームと枚数のメジャーに♥でビッドしたが、ダイヤモンドのキングワードで破死。裏のテーブルでは多田井・原の裏的的な2♣オープンゲームと枚数のメジャーに♥でビッドしたが、ダイヤモンドのキングワードで破死。

久富チームはインドネシアと対戦したが不運であった。久富・寺本は華麗に♥でビッドしたが、ダイヤモンドのキングワードで破死。裏のテーブルでは多田井・原の裏的的な2♣オープンゲームと枚数のメジャーに♥でビッドしたが、ダイヤモンドのキングワードで破死。裏のテーブルでは多田井・原の裏的的な2♣オープンゲームと枚数のメジャーに♥でビッドしたが、ダイヤモンドのキングワードで破死。